

報告

女性医師等支援相談窓口は 開設1年目を迎えました

常任理事・医療関連事業部長 藤井 美穂

女性医師数の増加で、全医師数の18.9%を占める比率（2010年）も近年中に、平成23年度医師国家試験合格者の女性比率32.5%に達し、さらにその比率は大きくなることでしょう。都道府県医師会、行政、学会など、全国的に女性医師支援は推進されていますが、特に産婦人科、小児科では30歳未満医師のそれぞれ73%、50%を女性医師が占め、女性医師支援は診療を守るための現実的な問題となっています。

北海道医師会では、北海道の補助を受けて、昨年「女性医師等支援相談窓口」を開設いたしました。6月15日で1年目を迎え、育児に関する問い合わせ、下記に示す育児サポート事業への登録などが進んできました。

調べてみますと、地域により女性医師比率に差があり、東京、神奈川では26%、22%と高く、北海道、青森は13%台と低いという統計があります（表）。2010年のこの調査では、北海道は女性医師比率は47都道府県中46位で、女性医師支援のあり方も、地域ごとに変えていかなければならないのではないかと考えています。

今後さらに、たくさんの方々に支援相談窓口をご利用していただくことを願い、改めて、本事業をご紹介します。

【相談窓口事業】

育児支援を中心に、コーディネーター医師、保育士の協力を得ながら、Eメール、電話、FAXでアクセスできるようにしており、札幌、函館、小樽、旭川、釧路在住の13名のコーディネーターの先生が、相談の対応をしております。

昨年度は、復職に関しての相談や育児サポート事業に関する問い合わせがありました。

さらに、今年度からは、復職研修支援事業を開始します。

【育児サポート事業】

育児中の働く親にとって、病児保育や時間外保育を担ってくれる場所がないことは大きな問題です。医師はさらに、診療の予定外の延長、患者の急変な

表 女性医師比率ランキング（2010年）

順位	都道府県	女性医師比率
1	東京都	26.31%
2	神奈川県	22.31%
3	徳島県	21.61%
4	京都府	20.86%
5	愛知県	20.36%
6	大阪府	19.60%
7	高知県	19.38%
7	香川県	19.38%
9	栃木県	19.05%
10	千葉県	18.77%
10	茨城県	18.77%
12	佐賀県	18.53%
13	埼玉県	18.39%
14	兵庫県	18.29%
15	島根県	18.21%
16	滋賀県	18.14%
17	岡山県	17.88%
18	沖縄県	17.83%
19	福岡県	17.59%
20	群馬県	17.55%
21	奈良県	17.44%
22	和歌山県	17.29%
22	広島県	17.29%
24	大分県	16.78%
25	岐阜県	16.72%
26	富山県	16.66%
27	鳥取県	16.54%
28	熊本県	16.30%
29	福井県	16.29%
30	山形県	16.11%
31	長野県	16.09%
32	石川県	16.04%
33	静岡県	16.02%
34	宮城県	15.97%
35	宮崎県	15.57%
36	秋田県	15.56%
37	新潟県	15.48%
38	山梨県	15.42%
39	長崎県	15.29%
40	三重県	15.01%
41	愛媛県	14.87%
42	鹿児島県	14.82%
42	福島県	14.82%
44	山口県	14.33%
45	岩手県	13.90%
46	北海道	13.73%
47	青森県	13.13%
	全国	18.94%

どの緊急呼び出しも多数あります。

このような負担を抱える医師のために、信頼のける育児支援事業者と連携し、相談窓口が保護者に代わって送迎・病児や病児以外の緊急預かりを手配する育児支援事業をスタートさせています。

対象地区は、札幌市などの道央圏、小樽市、岩見沢市のほかに旭川市などの道北圏が加わり、利用できる地域が広がっています。

【復職支援事業】

道の補助事業として地域における復職研修の支援を実施し、復職を目指し、研修を希望する女性医師等に対して、より身近な地域の医療機関において、研修が受けられるよう当会が医療機関へ委託し、研修を実施する事業を開始します。

研修受入協力医療機関は、女性医師等支援相談窓口のホームページに掲載し、今年度は、希望医師を6名とし、1名当たり30日間まで研修期間に対し補

助することになっています（研修期間は30日を超えても構いません）。

以上の事業については、北海道医師会女性医師等支援相談窓口のホームページで紹介しております。育児支援、復職相談を求めている世代の多くは、北海道医師会未加入者が多いと思いますので、北海道の地域医療を支える仲間の一員となっていただくためにも、本窓口事業は会員以外の医師達にもぜひ利用していただきたいと考えております。

事業をさらに実効性のあるものにしていくために、今後も女性医師等の抱えるさまざまな問題に対して、役立つ情報を可能な限り集め、発信していく予定です。

本事業が多くの場面で紹介、周知され、よりよいものに育っていただけますよう、会員の諸先生のご協力を賜りたいと思います。よろしくお願い致します。

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口を ご存知ですか？

北海道医師会では、お忙しい医師のために育児支援事業や仕事と家庭の両立を支援するために、現役の先輩医師による相談窓口を開設しています。詳しくは、以下の専用ホームページをご覧ください。

育児支援

病気や緊急時にご利用いただくもので、病院からの急な呼出し等で子どもを預けたい時、手術や急な残業でお迎えに間に合わない時、また、保育園・学童保育などで発病したがお迎えに行けない時などに当会が保護者に代わって送迎の手配を行うものです。

お悩みコーナー

ご相談内容に応じて、先輩医師が適切なアドバイスをすることで問題解決の糸口につながる事ができればと考え、「お悩みコーナー」を設置しております。女性医師等が結婚・出産・育児等を機に離職することなくキャリアを継続していただくため、日頃考えていることや悩んでいることなどをお電話やメールなどでご相談いただくコーナーです。お気軽にご相談ください。

復職研修支援

復職を目指し研修を希望する女性医師等に対して、より身近な地域の医療機関において研修が受けられるよう、当会が医療機関へ委託し、研修を実施します。

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

●詳しくはこちらをご覧ください 「女性医師等支援相談窓口」専用ホームページ <http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>

●ご相談はこちらへ ☎ 0120-112-500 FAX 011-231-7272 E-mail josei-dr-shien@m.dou.jp

北海道医師会 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 <http://www.hokkaido.med.or.jp/>